



The Project for Increasing Farmers Households' Incomes  
through Strengthening Domestic Rice Production in Timor-Leste



## Farmers Field School (FFS) 2020/2021 雨期作スタート

### 成果 1: 栽培技術

#### 1. FFS 2020/2021 ワークショップ

日付	項目	参加農家数
マリアナ I		
1月7日	育苗	20
1月12日	移植	15
1月26日	移植	12
1月27日	除草	15
ブルト		
1月8日	種子準備	18
1月10日	育苗	18
1月15日	育苗	18

2020/2021年雨期作のFFSを開始した。前作期からの参加農家と合わせて、マリアナIとブルトで各々80農家、合計160農家が今期作FFSに参加する予定。上の表は、1月のワークショップの項目や参加人数を示す。

また、今期より参加する農家とはGood Agricultural Practices (GAP) 技術について、また、前期より参加している農家とはGAP耕作面積の拡大について話し合った。



< マリアナIでの除草ワークショップ >

#### 2. FFS農家のモニタリングとサポート

進捗	農家数(80農家中)	
	マリアナ I	ブルト
FFS サイト		
耕起	80	74
育苗	80	53
移植	17	3

今年は、例年通りの雨期開始のおかげで、多くの農家は、昨年より早く稲作を開始した(昨年は雨期開始が大幅に遅れた)。1月時点の、FFS農家の稲作の進捗を、マリアナIとブルト毎に上の表に示す。

### 成果 2: 灌漑管理

#### 1. ブルトの滞筋の変化



ブルト灌漑施設に水を供給する川の滞筋が取水口と反対側へ移動したため、滞筋が取水口へ戻るよう、農家は人力にて川の土砂浚渫を行った。プロジェクトは、農家や水利組合(WUA)が農業水産省(MAF)本省や地元行政と協力して本問題を解決できるよう支援を続ける。

### 成果 3: 物流と販売 (民間)

#### 2. 国際米生産促進キャンペーンのインパクト調査

昨年12月半ばから1月末まで実施する国産米生産促進キャンペーンのインパクトを把握するための調査を開始した。本調査では、マリアナIとブルトの計100名の農家にインタビューし、キャンペーンの効果とコメ生産への影響を調べる。



< マリアナIの農家へインタビュー調査 >

### 成果 3: 物流と販売 (民間)

#### 1. チャクブ農家組合とアセルダ社メンバーシッププログラム



マリアナIのチャクブ農家組合メンバーシッププログラムに関し、成果1と協力し、メンバーシップに登録した105農家の耕作面積をGPSにて計測した。この計測により判明した土地面積に応じて、チャクブ組合は肥料を農家に提供する(肥料代は、籾購入の際に相殺される)。

ブルトのアセルダ社のメンバーシッププログラムに関する説明会により、1月までに116名の農家が同メンバーシップに登録した。

### 成果 4: 買取と配布 (政府)

#### 1. コメ買取り価格

プロジェクトは、National Logistic Center (NLC) のコメ買取り価格について右記の通り再確認した。農家から直接買い取る場合の買取り価格: \$ 0.40/kg、農家がNLCの倉庫へ持ち込む場合: \$ 0.52/kg(最低3トン)。プロジェクトとNLCマリアナ倉庫スタッフは、このコメ買取り価格について、マリアIとIIの地元行政官や農家に説明した。



< 村長へコメ価格を説明 >

### 来月の主な活動予定

**成果 1:** FFSワークショップおよび参加農家サポート。  
**成果 2:** 違法取水対策に関しWUAを支援。

**成果 3:** メンバーシッププログラムを継続支援。  
**成果 4:** NLCによるコメ買取り標準操作手順書を作成。